

第12回名古屋高速道路懇談会

平成17年12月12日



目次

事業概要

お客様サービス向上に向けた
取り組み

事業概要

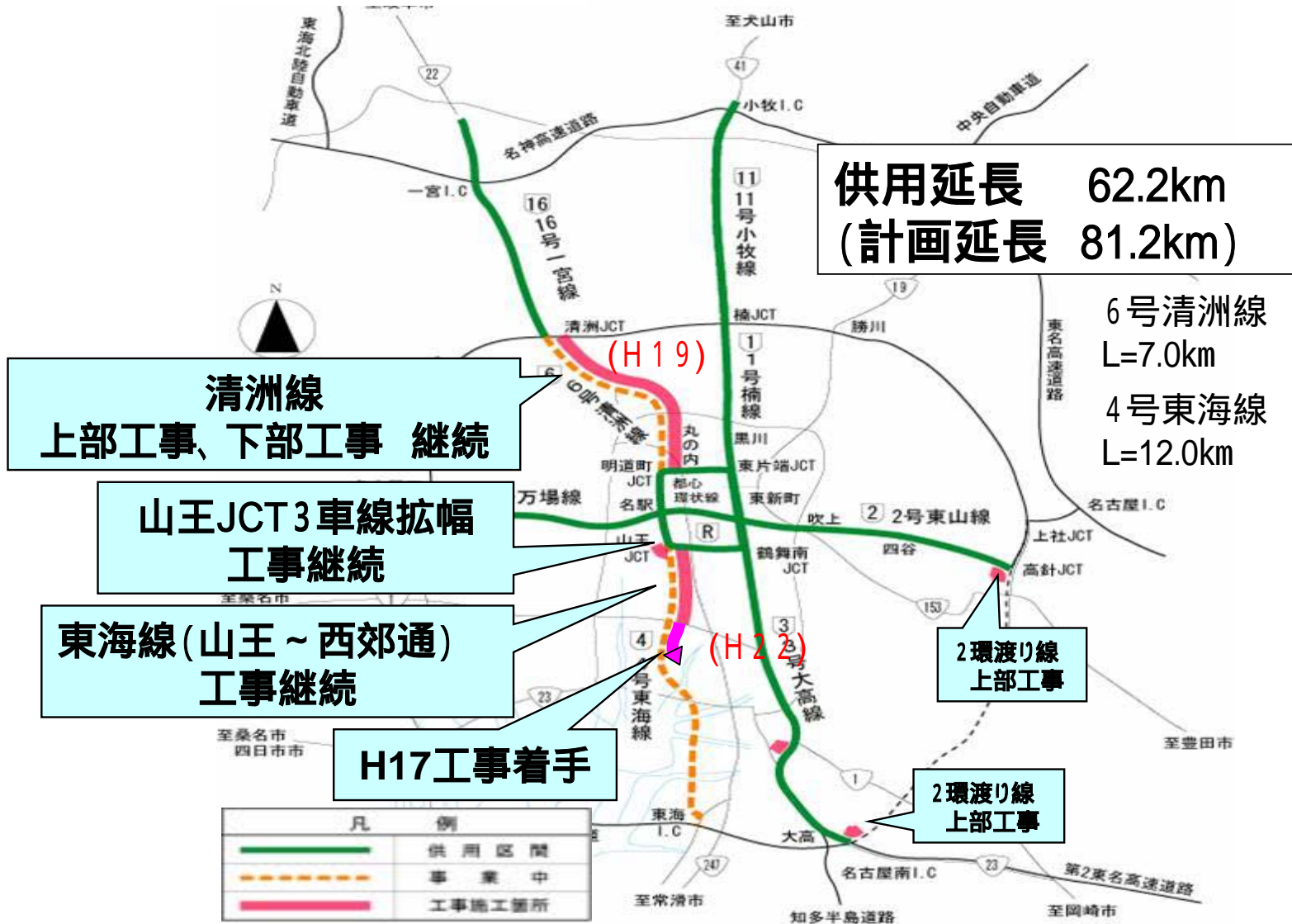
1. 現行整備計画

(H17.2月許可)

費用の概算額	16,900億円
完成年度	本線:21年度 全線:22年度 (街路含む)
整備延長	81.2 km
完成時料金	2環内750円



2. 平成17年度事業概要



3. 利用交通量の現状等

H17年度上半期交通量

H17年度上半期交通量は、前年同期より名古屋線で約7%増加
愛知万博開催(H17.3.25～9.25)等により交通量が増加と想定

H17年度上半期交通量(4～9月分) (台/日)

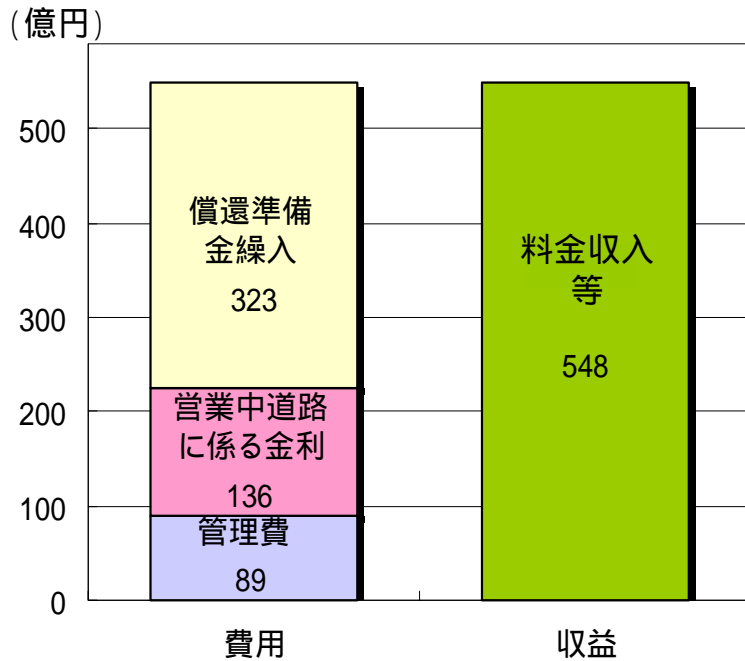
	H17年度 (4～9月)	H16年度 (4～9月)	増減	比率 (H17/H16)	(参考)	
					H17.10	H17.11
名古屋線	186,500	174,200	12,300	1.07	185,500	180,600
小牧線	51,500	53,200	1,700	0.97	51,500	51,200
一宮線	21,300	-	21,300	-	23,500	25,600
合計	259,300	227,400	31,900	1.14	260,500	257,400

交通量は4月～9月の日平均値

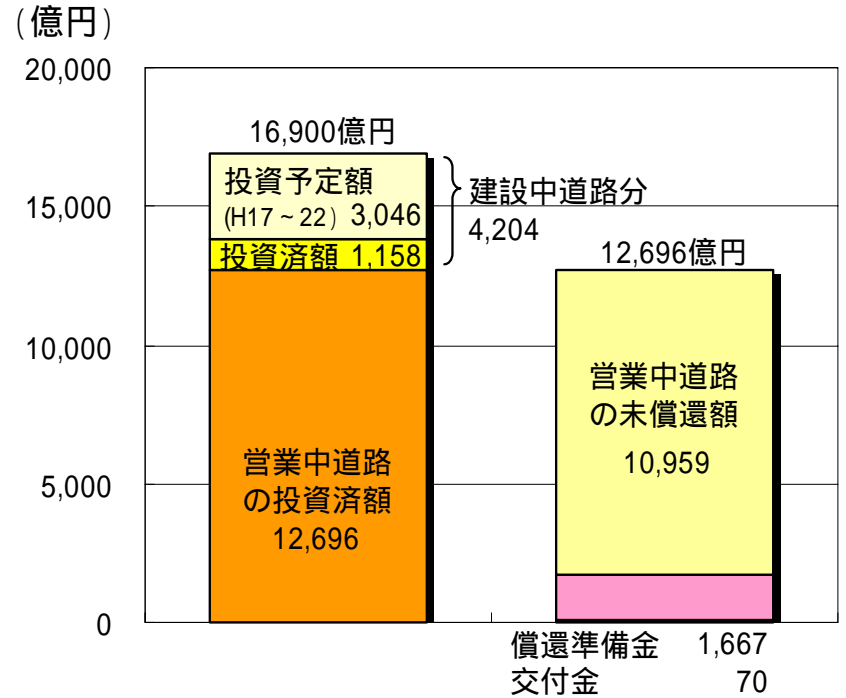
一宮線H17年2月11日供用

4. 営業中道路の収支・償還状況

単年度収支状況(平成16年度)



償還状況(平成16年度末)



営業中道路分1兆3千億円の内、約1割を返済

*償還準備金 / (営業中道路分 - 交付金) = 13.2%

お客様サービスの向上に向けた取り組み

1. お客様満足度調査

目的 お客様が名古屋高速道路に望む対策などを把握し、より一層的確なサービスの改善に努める。

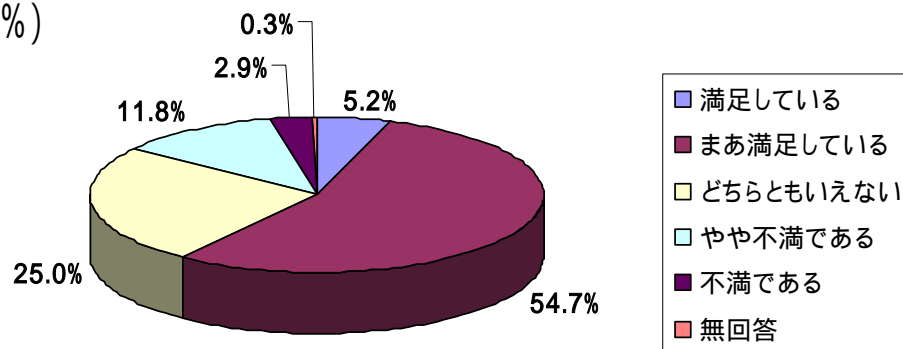
概要 料金所でのアンケート調査配布
平成17年1月16(日)、17(月)
20,000部配布 (回収率19.3%)

満足度調査

名古屋高速の走りやすさ、快適性などを5段階で評価

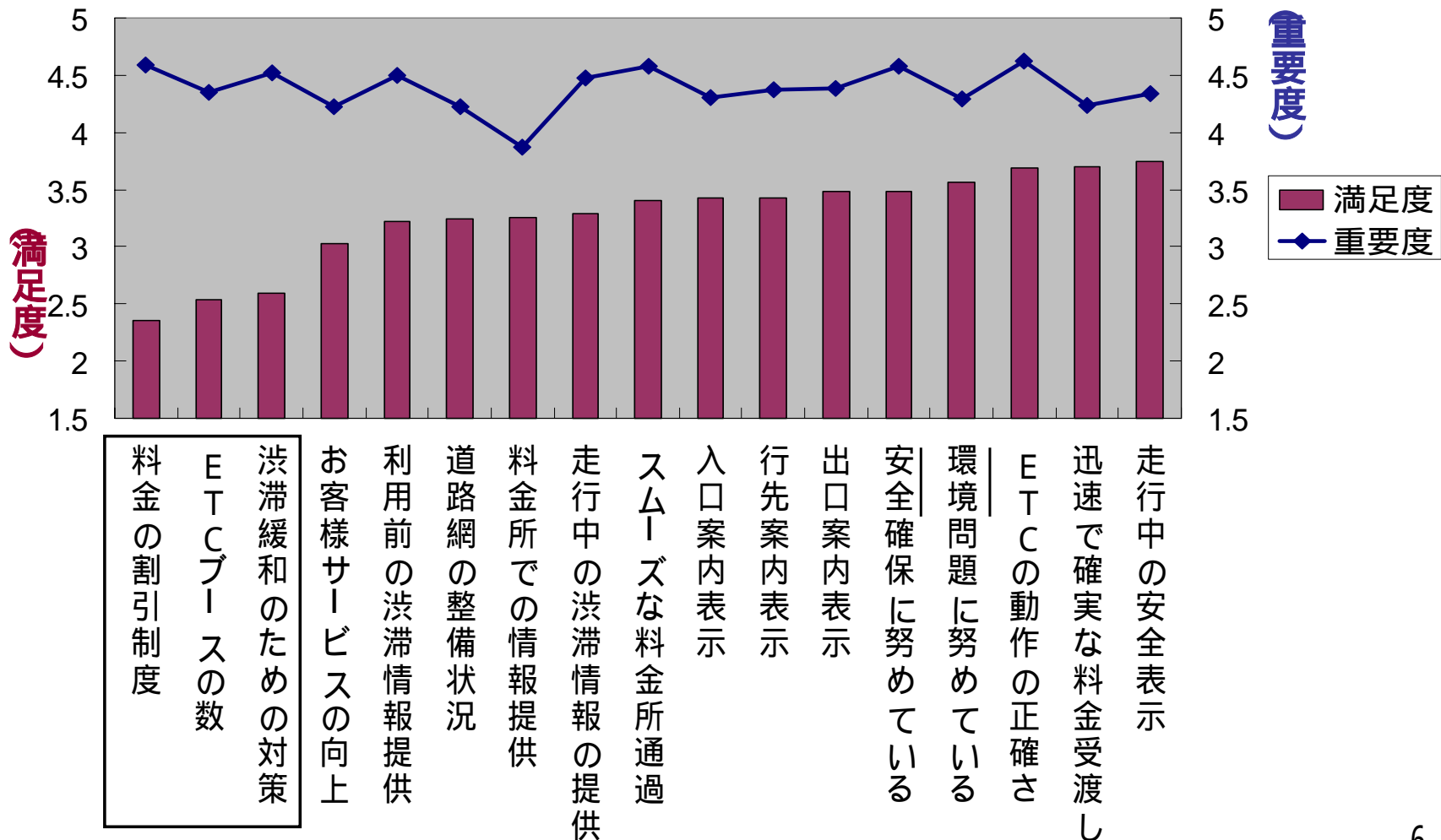
総合満足度 3.48

満足側 59.9% 不満側 14.7%



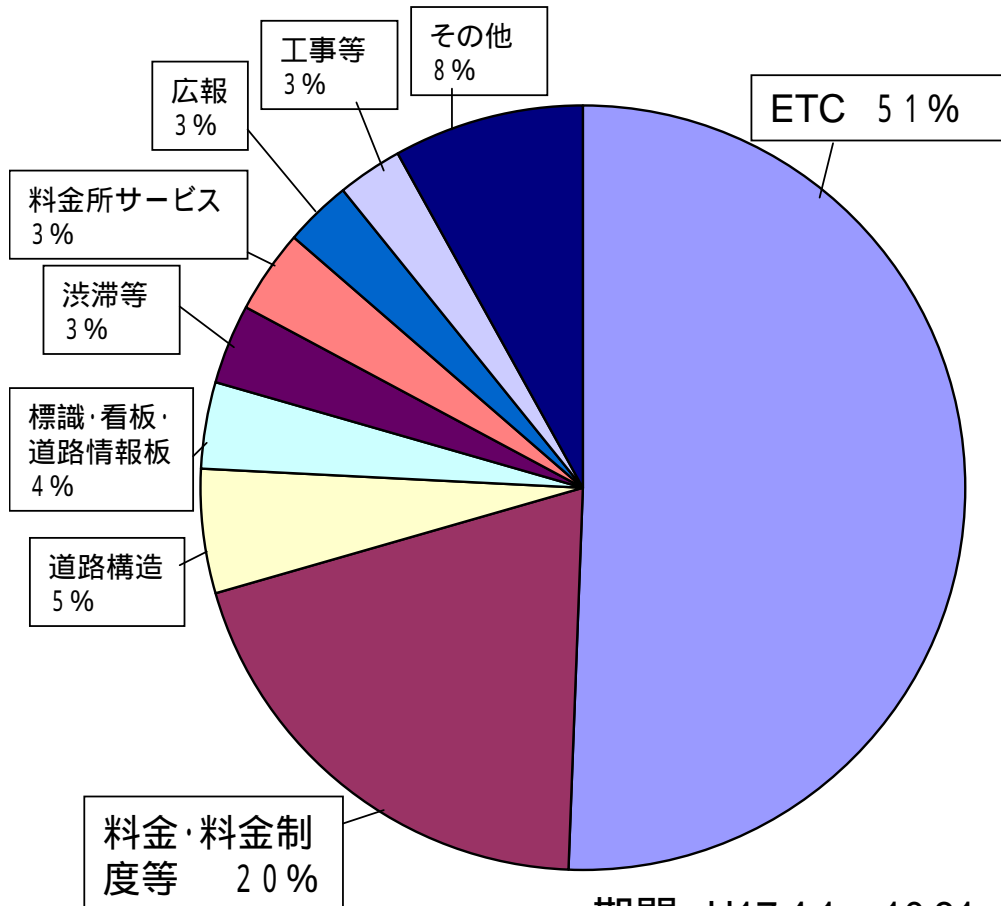
項目別満足度・重要度

料金の割引制度、ETCブースの数、渋滞緩和のための対策の満足度が低い



ホームページご意見箱に寄せられた意見

ETC、料金・料金制度等の意見が特に多い(約7割)



ETCに関する主なご意見

ETC割引制度等

ETCレーン等施設

ETC課金エラー・バー接触等

料金・料金制度等に関する主なご意見

料金制度

回数券

ハイカ

期間 H17.4.1 ~ 10.31
(357件)

2. H17年末ETC料金認可(案)概要

料金問題調査会にて議論して頂き、本(案)にて現在手続中

利用頻度に応じた割引

名高速一般向けマイルージ割引(仮称)

基本ポイント	加算ポイント	
	月間利用額区分	100円につき
1通行ごと 100円につき	5千円以下の部分	0ポイント
	5千円を超え1万円以下の部分	3ポイント
1ポイント +3ポイント	1万円を超え2万円以下の部分	6ポイント
	2万円を超え3万円以下の部分	12ポイント
	3万円を超えた部分	19ポイント

名高速コーポレートカード割引(仮称)

月間利用額区分	割引率	
5千円以下の部分	0%	+3%
5千円を超え1万円以下の部分	4%	
1万円を超え2万円以下の部分	7%	
2万円を超え3万円以下の部分	12%	
3万円を超えた部分	18%	

期間限定ETC普及促進キャンペーン(弾力的)割引 …1年間

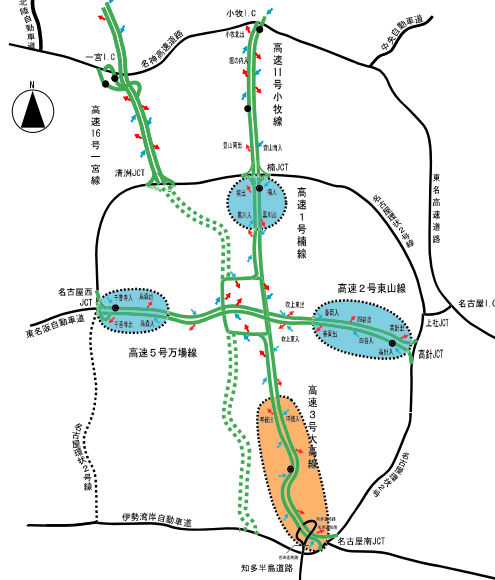
ETC特別割引(期間限定)の5.8%積み増し及び回数券販売は、利用頻度に応じた割引導入時期に終了する。

ハイカは年度末に利用停止

距離の要素の割引

端末特定区間割引

(普通車:200円引、大型車:400円引)



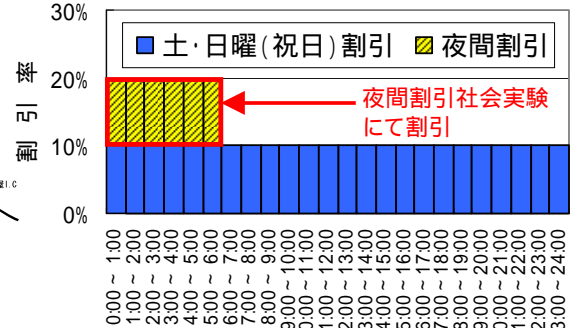
- < 社会実験中 料金認可 >
- ・黒川～楠 約4km
 - ・春岡～高針 約6km
 - ・烏森～千音寺 約4km
- < 今回追加料金認可 >
- ・呼続～大高 約7km

1. 時間帯・曜日に応じた割引

土・日曜(祝日)割引

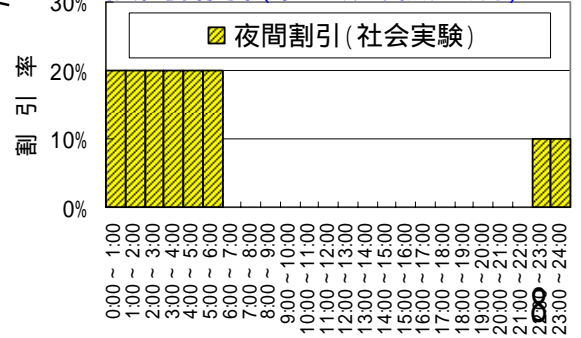
日曜(祝日)割引を料金認可

期間限定ETC普及促進キャンペーン(弾力的)割引として土曜日10%割引(1年間)



土・日(祝)の00h - 06hは社会実験分を加え20%の割引を行う。

夜間割引(社会実験継続)

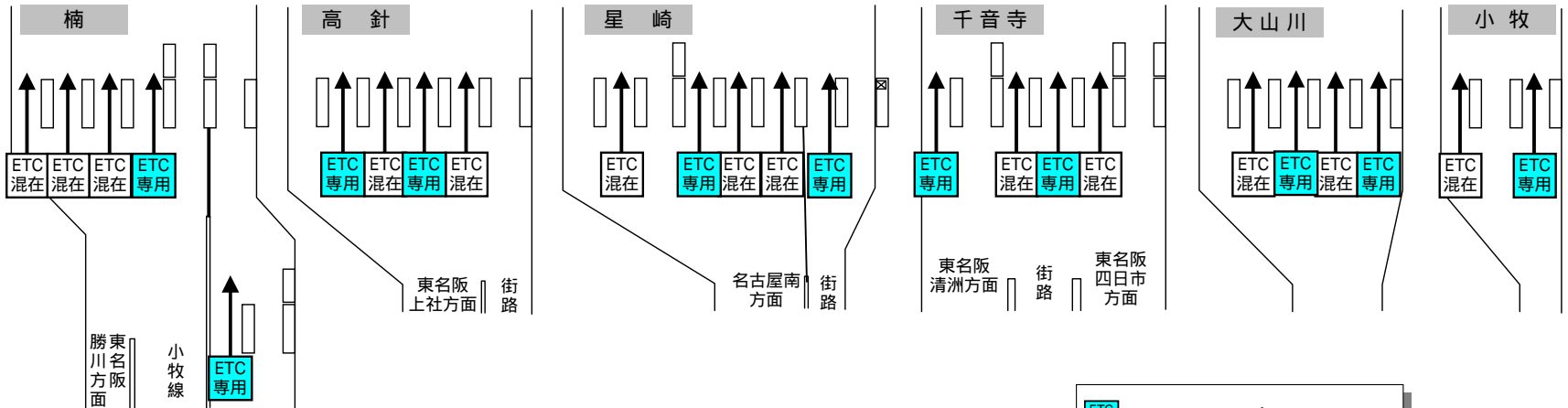


3. ETCの整備・運用状況

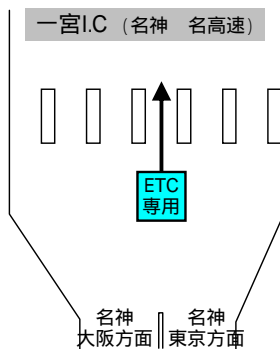
平成17年11月末現在

昨年に比べETCレーン数が倍増(68レーン)
 ほぼ全ての料金所でETC専用レーンを利用可能

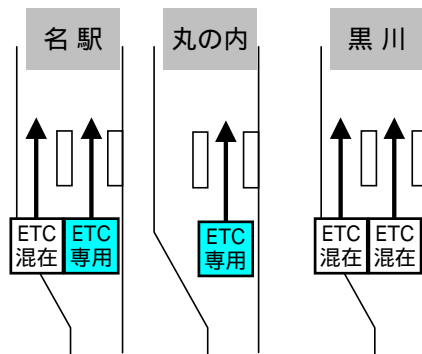
本線料金所



合併料金所



一般料金所



: ETC専用レーン
 時間帯によって混在運用

: ETC混在レーン

ETC設置料金所 : 36料金所

ETCレーン数 : 68レーン

専用レーン数 : 39レーン

専用レーン数 : 1レーン
 (混在運用併用)

混在レーン数 : 28レーン

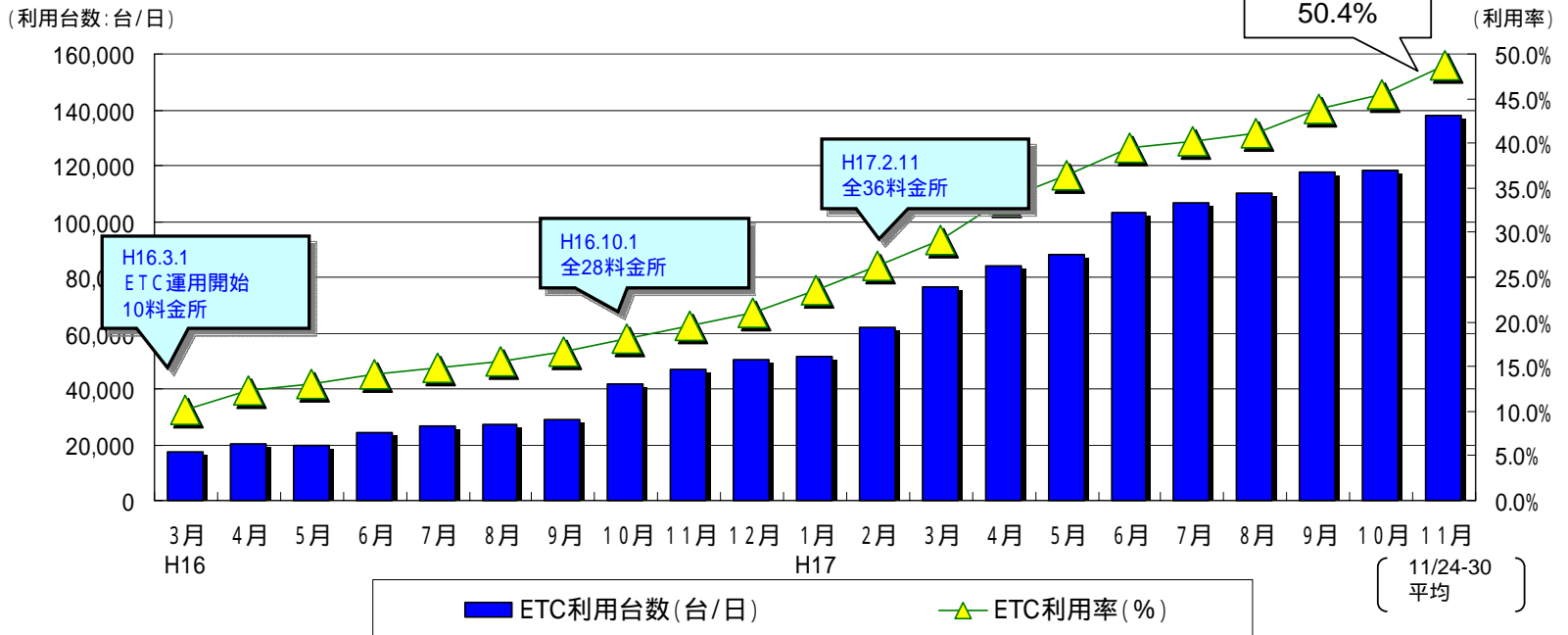
ETC運用開始後の利用率

名古屋高速利用の約半数がETC (ICCR含み) で料金支払い

料金支払い内訳(11月24日(木)～11月30日(水))

	利用形態					計
	ETC	ICCR	回数券	ハイカ	現金等	
利用台数	964,884	85,529	223,614	61,655	641,240	1,976,922
利用率	48.8%	4.3%	11.3%	3.1%	32.4%	100.0%

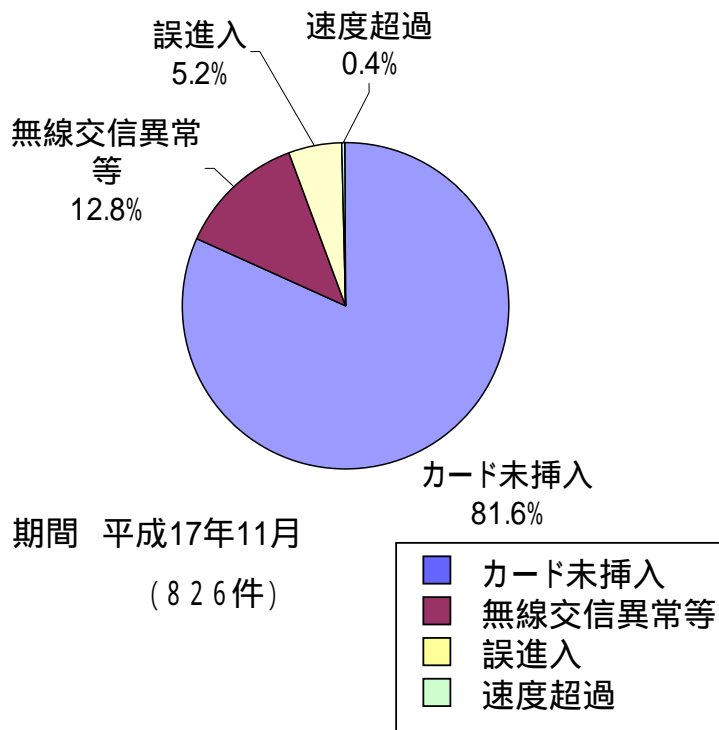
ETC : ETCカードを車載器に挿入し、無線通信により通行した車
 ICCR : ETCカードを料金所係員に手渡しすることにより通行した車



ETCトラブルの発生原因と対策

トラブル件数が月当たり約800件発生

ETCトラブルのほとんどはカード未挿入が原因(約8割)



対策内容

ETCカード未挿入の注意看板の設置と電光表示
ETC専用レーンを表すカラー薄層舗装
ETC利用上の注意点についての広報(ちらし等)

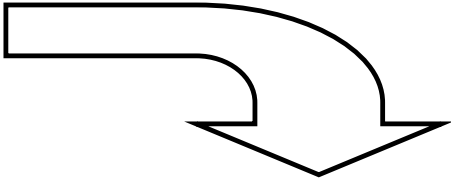
開閉バーの短小化
(長尺 2750ミリ 短尺1800ミリ)



ETCカード未挿入のお知らせ確認情報提供アンテナの設置(星崎、小牧北、一宮中料金)
H18年3月

4. 渋滞の現状と対策 (自然渋滞、全日平均)

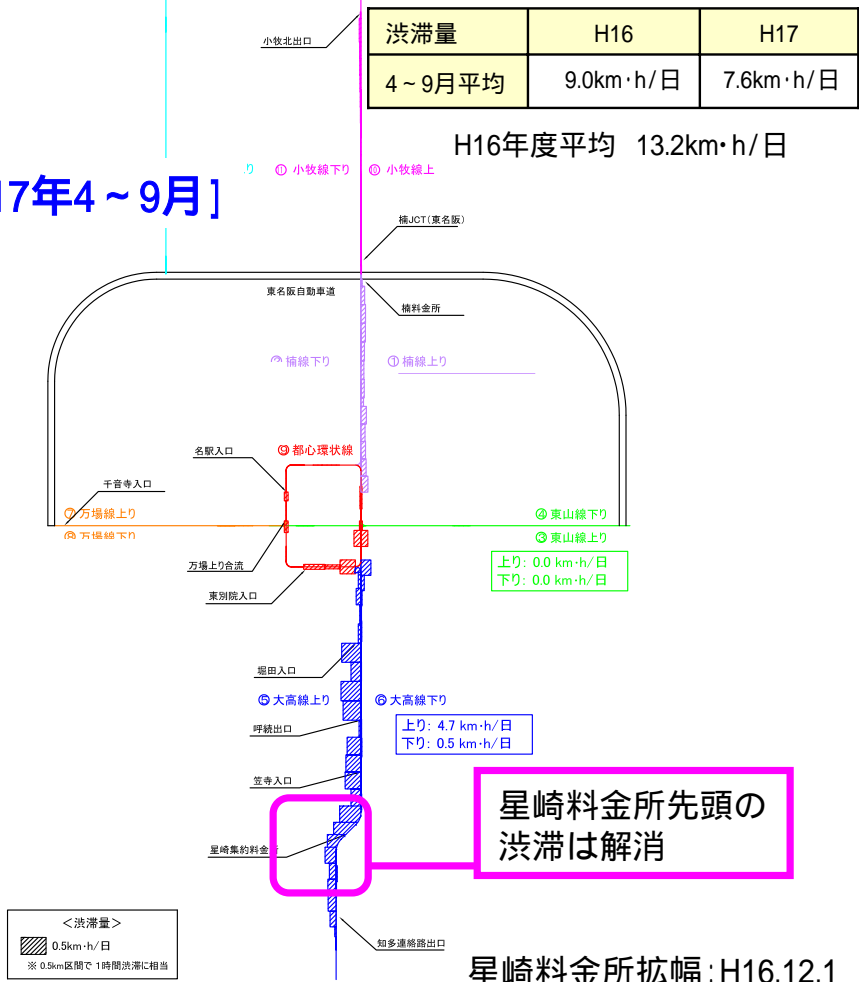
主に都心環状線及び大高線で渋滞が発生



対策内容

- 大高線の渋滞
 - ➡ 東海線の整備(H22年供用)
 - 星崎料金所拡幅(済)
- 都心環状線の渋滞
 - ➡ 山王カーブ拡幅(H19年供用)
 - ETC専用レーン数の拡充
 - ETC料金割引
 - 道路交通情報の提供

[H17年4~9月]



6. 騒音対策

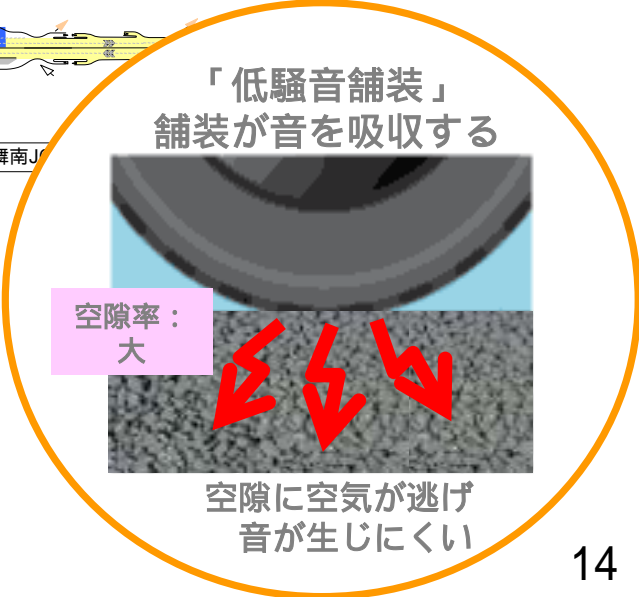
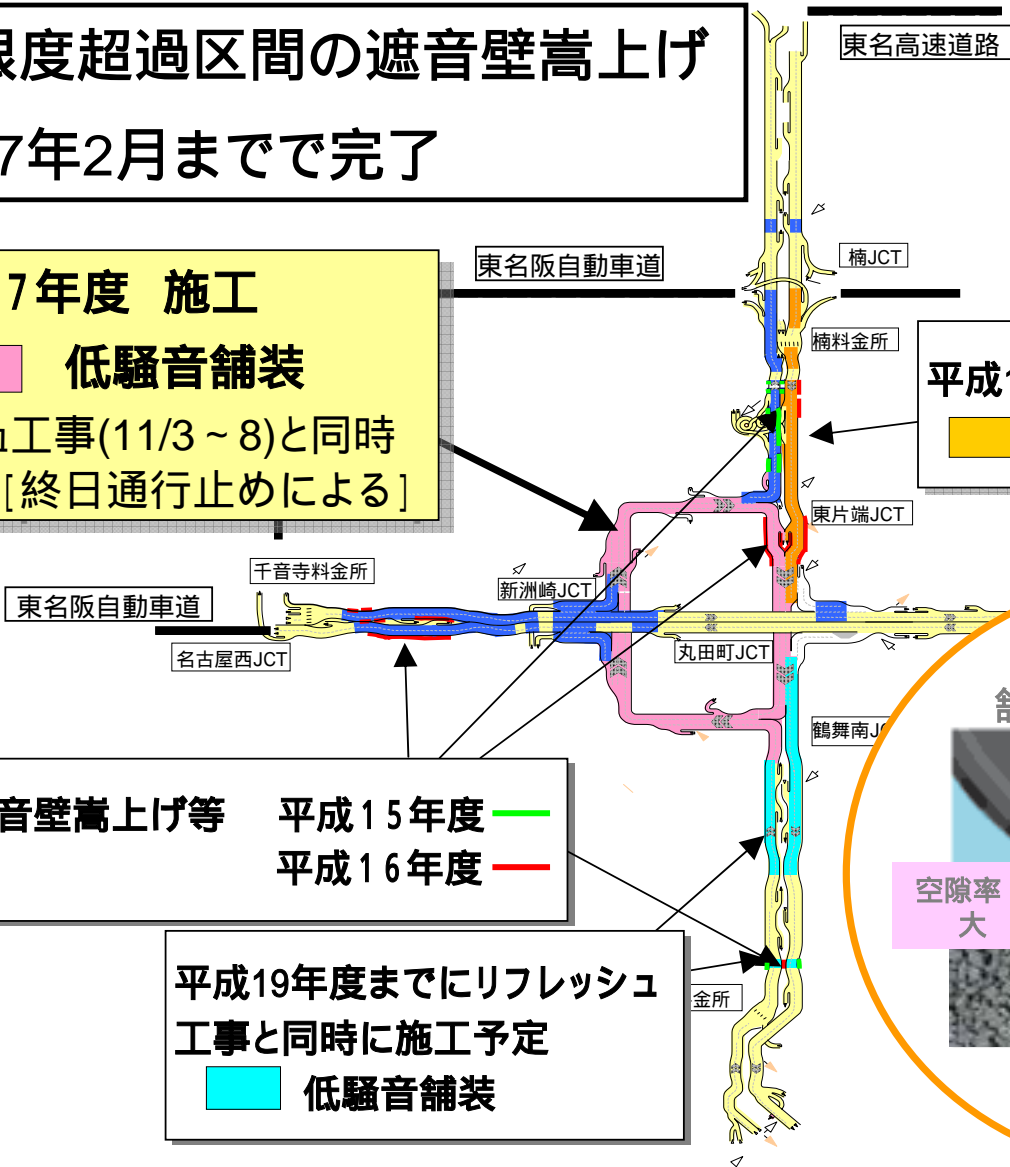
要請限度超過区間の遮音壁嵩上げ
平成17年2月までで完了

平成17年度 施工
低騒音舗装
リフレッシュ工事(11/3~8)と同時に
施工[終日通行止めによる]

平成16年度 施工完了
低騒音舗装

遮音壁嵩上げ等
平成15年度
平成16年度

平成19年度までにリフレッシュ
工事と同時に施工予定
低騒音舗装



7. 耐震補強

兵庫県南部地震級の地震に対しても橋梁が倒壊・落橋しない
ことを目標

旧基準で造られた橋脚(1075基)については補強済み

新基準適用路線については建設時より対応済み

その他単純桁の連結化、落橋防止装置の改良済み

実施時期 平成7年度～平成16年度